

いざというときは

地震だなと思ったら

自分の身の安全を確保する。
避難はあわてず、さわがず、走らず。
せまい所や建物、電線には近づかず。

落ち着いた適切な行動で避難を

- ①揺れを感じたら
→ 机の下にもぐるか、かばんなどで頭を保護してください。
- ②揺れが止まったら
→ 先生方の指示に従い、速やかに外に出る準備をします。
荷物は持ちません。
- ③屋外に出るまで
→ 絶対に話しません。走りません。階段は特に慎重に。
- ④野外に出たら
→ ブロック塀や電線、建物の周りには近づかない。

火を見たら

周りに知らせる
早く消火する
早く逃げる

早く周りに知らせる。早く消火する。早く逃げる

- ①火災を知ったら
→ あわてずに「火事だ」と大声を出し周りに助けを求めます
- ②火を消すとき
→ 消火器や水以外に身近なもので消火しましょう。
- ③避難するとき
→ とにかく落ちついて。煙の中を逃げるときはハンカチなどで口をおおい、できるだけ姿勢を低くして逃げます。

- 生徒さんへ: いざというときのため、サンダルやヒールの高い靴での通塾はなるべく避けましょう。
- 先生方へ: 消火器の使い方や、避難器具・非常口などの確認を必ずお願いします。

一時集合場所 : 隣ガスト様駐車場
一時避難場所 : 草加市民体育館